

いつか見^みむ
(若^{わか}山^{やま}牧^ま水^{みづ})

解説 青森に行ったことがない牧水は青森に憧れていた。いざ青森に行ってみると大雪の青森であつたと述べた詩。

いつか見^みむ いつか来^こむとて こがれ 来^こし

語釈 ※いつかⅡそのうち。※こがれⅡ激しく恋い慕う。

その 青^{あお}森^{もり}は 雪^{ゆき}に 埋^うもれ 居^いる

通釈 何時の日か青森に行きその眼で確かめたいほど焦がれている。だが、青森に行ってみると大雪で、町全体が埋もれ尽くされていた。